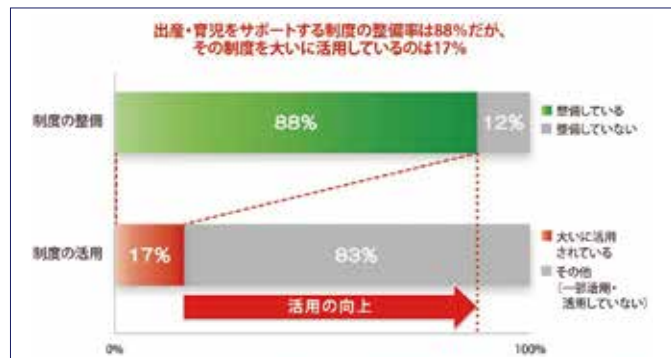


出産・育児サポート制度の整備・活用状況



(いずれも出典：建設業における女性活躍推進に関するフォローアップアンケート調査結果、会員企業による回答)

会員企業における協会の女性技能者の雇用・育成支援の状況



人にとって働きたい、働き続けたいと思われる職場環境の実現を目指す。

けんせつ小町の活動を始めて五年目。しかし、職場環境の改善などハード・ソフト両面でいまだ満足すべきものでないという認識が根底にある。

「定着支援」の目標には、会員企業の女性社員における勤続勤務年数の向上(現状の調査後に目標値を定める)、会員企業の女性社員だけでなく協力会社の女性技能者及び発注者の女性等が快適に利用できる現場内のトイレと更衣室の設置率一〇〇%、会員企業における現場環境整備マニュアル・同チェックリストの普及促進(利用率一〇〇%)、職場における各種ハラスメントを解消する会員企業の取組み支援を掲げている。

「活躍支援」の目標では、会員企業における育児休業等取得率一〇〇%(男女とも)、子育て中の会員企業の社員及び協力会社の技能者の時差出勤等(短時間勤務・フレックスを含む)の利用率向上(詳細な調査後に目標値を定める予定)、け

んせつ小町の仕事に対する「やりがい」や「モチベーション」の向上支援に取り組む。また、会員企業の女性管理職の社員数を二〇一八年度の一、四三七人の一・五倍に当たる二、一〇〇人程度を目指すこととしている。

「入職支援」では、会員企業の技術者中の女性の比率を二〇一八年度の五・九%から一〇%程度への引き上げ、女性技能者の雇用・育成を行っている協力会社を支援する会員企業の増加、けんせつ小町の立場から、建設業の魅力・やりがい・社会的意義などを広く発信し、女性たちの建設業への入職の契機を増やすことを目標としている。

けんせつ小町委員会では、目標値を設けているものについてはフォローアップ調査を行い、達成数値を把握する(年一回程度を予定)とともに、定性的な目標については、各年度の活動報告に基づいて評価を行い、次年度の計画立案に反映する予定。

「けんせつ小町」の愛称が浸透し、より多くの女性が建設業界で働くことの意義が広く認識されつ



けんせつ小町HP

けんせつ小町について知りたい方から、他社のことが知りたい会員企業の方まで、多くの方々に向けて幅広く情報を発信しています。日建連HPの中でもアクセス数上位の人気サイトです。

つある現状を礎として、この計画の意図するところを実現していく方針だ。



働きたい、働きつづけたい 建設業をめざして
新たな「けんせつ小町活躍推進計画」を策定

日建連けんせつ小町委員会(新井英雄委員長「三井住友建設(株)社長」)はこのたび、二〇二〇年度から二〇二四年度までの五年間を実施期間とする「けんせつ小町活躍推進計画」を取りまとめた。

日建連は二〇一四年、「女性技能労働者活用方策」「女性技能労働者活用のためのアクションプラン」「もっと女性が活躍できる建設業を目指して「日建連の決意」を策定し、また、「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を国土交通省及び建設業五団体とともに策定した。これらが今年度で終了するため、これまでの活動を踏まえたうえで、建設業が将来にわたって実現すべき姿を勘案しながら、単なる数値目標の設定にとどまることなく具

体的な目標・実施方策を策定したものである。

計画が目指す「働きたい、働きつづけたい建設業」を実現するため、「定着支援」「活躍支援」「入職支援」の三つのテーマを掲げた。テーマに掲げた支援の対象は、建設業を職場として、家庭との両立、他業界への転職など、何らかの理由で職場を離れることなく長い年月にわたり「定着」して、イキイキとやりがいを持って「活躍」しているけんせつ小町の姿を見て、建設業で働こう(新規・中途採用を含む「入職」)と考える女性が現れるというように、密接に関係している。これら三つのテーマごとに掲げた目標を達成することで、女性をはじめとする建設業で働くすべての

「けんせつ小町活躍推進計画」の3つのテーマと方向性

